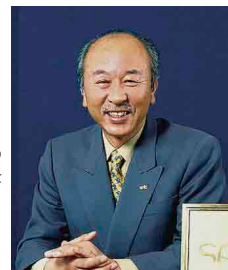


President Message

SPIC Group
会長 芝田 乃丞



政府やマスコミは信頼できるか

東日本大震災・福島原発事故の発生から3年が経過しますが、何一つ解決していません。

問題は深刻化する一報です。未だに真実が明らかにされません。当時の報道記録を見ると実に酷いニセ情報を政府も官僚も東電も学者もテレビ・新聞も国民に流していたのが良くわかります。これは刑事犯罪にも匹敵する大問題です。メルトダウンを隠し、大量の放射能が放出されている最中に、健康には影響ないと公言し、“スピーディー”など見たことがないと嘯き、多くの住人の生命を危険にさらしておきながら、自分たちの家族を海外に避難させていた事が判っています。

食品500Bqを基準にしたり、年間100ミリシーベルトまで安心と言い放って、既に小児甲状腺ガンは通常の300倍に達しているにも関わらず、放射能被ばくによるものであるか判断できないと言い続けています。一体何を恐れ真実を明らかにしないのでしょうか。国民の生命を犠牲にしてまで守りたい秘密とは何かとても理解に苦しみます。安倍内閣は、秘密保護法で益々真実が隠蔽される国づくり、北朝鮮のような独裁国家を目指しているかのように感じます。誰の命令で動いているのでしょうか。

原発事故後から、重要な情報を隠蔽し、矮小化し、現在でも国民を欺き続け、真実は米軍だけに知らせ、国民には知らせない。汚染水は海に垂れ流し、その汚染は広範囲に及んでいます。にもかかわらず「原発は安全だ」「再稼働だ」と繰り返し、目先の利益を優先し国や国民の利益を犠牲にした、恐ろしい道を歩んでいるように思えます。

原発の問題だけでなく「TPP」についても国民の多くは蚊帳の外です。

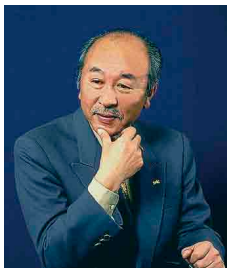
温暖化問題にしても、科学者の半数以上は温暖化の原因は二酸化炭素ではない、地球はむしろ寒冷化に向かっていると言っている。地球誕生時はCO₂は95%であったが、現在は大気中の0.04%で、誕生以来最も少ない量である。地球は決して温暖化などではない、マスコミは温暖化を国民に煽り、原発再稼働を正当化している。

電気料金でも原発が停止なので値上はやむおえないと報道しているが、原発事故処理に莫大な費用が掛かるその為の値上げです。実は原発の電気料が一番高いことが判ってきました。

一部の権力者が情報を握り、国民にニセ情報を与え、国や経済を動かしている現実があります。このような現象は、実は世界中で起きているのです。今後、内乱やテロ、戦争が勃発する可能性は極めて高いと考えておく必要があります。真実を隠し犠牲になるのは国民です。

私達はこれらの動向を正しく見抜き、正しく判断し行動する事が求められていると思います。そして、私達の将来、国の将来、子供の将来を考え、どうあるべきかを問うことが大切です。

政府やNHKはじめマスコミは信用できない、一人一人が無関心にならず、先見性を持って諦めることなく行動していきましょう。



SPIC Group
会長 芝田 乃丞

自分が変われば相手が変わる。相手が変われば時代が変わる。

2014年度のテーマは、「かわる」です。成長とは「かわる」と同意語です。
春になると地中の種は発芽し、茎を伸ばし成長します。やがて花が咲き、実をつけます。
この過程は一つ一つが変化です、変化の結果が成長といえます。



SPIC Salon Medical Clinicは、今年4月で開業10周年を迎えます。
この10年間で医療界や社会に新しい医療の姿を提案し続けてきました。
従来ガン治療は手術、放射線、抗がん剤治療が主流でしたが、あまりにも患者負担の大きい治療方法で、
多くの患者が他の治療方法を希望していました。
柳澤会長はクリニックで超高濃度ビタミンC点滴療法による悪性リンパ腫の治療効果を得て、
更に、あらゆる部位のガンに対する治療効果を知りました。
その後点滴療法研究会を発足させ、全国500名以上の医師に超高濃度ビタミンC点滴療法による
ガン治療の普及に努めてきました。欧米先進国のガン治療では、三大治療は古い治療方法とし、
新しいガン治療法が研究され実験されています。超高濃度ビタミンC点滴療法は、科学的にも医学的にも、
大学医学部でもその治療効果が証明されている治療方法です。
海外では多くの患者が超高濃度ビタミンC点滴療法を希望し治療を受けています。
米国では三大治療中心の時代に比べ、ガン死亡率が低下しています。
残念ながら日本では毎年増加傾向にあるのとは逆の傾向を示しています。
柳澤会長は全国各地の身近な場所で、超高濃度ビタミンC点滴療法によるガン治療が受けられるよう
計画を開始し、日本のガン治療の流れを大きく変えました。
私達自身の考えを変え、行動を変えれば、時代が変わる事になった事実です。
これからの医療の姿は、ガン予防、心筋梗塞予防、脳梗塞予防、糖尿病予防の時代に入ります。
SPIC Salon Medical Clinicは、国民の健康を守る予防医療に向け、「かえる」を目指したいと考えています。

SPIC Group
会長 芝田 乃丞



3月24日 トーマス・E・レヴィ医師 来日記念セミナー開催

リポスフェリック・ビタミンCのDVDでお馴染みの、トーマス・E・レヴィ先生がこの度、
医師向けセミナー講師として来日することになりました。柳澤会長にお願いし、
SPIC主催による一般者向け講演会をお願いしましたところ、快くお引き受けくださいました。

レヴィ先生は、ビタミンC研究者として世界で最も注目されている先生です。

特別講演では、「リポスフェリック・ビタミンCの驚くべき効果と特徴」
「他のビタミンCに比べ如何に優れているか」についてお聞きすることが出来ます。

下記はレヴィ先生からのコメントです。

「リポスフェリック・ビタミンCは最新の科学技術を使ったビタミンCです。

最近では、リポゾームの形状で胃腸から吸収されたビタミンCは血流だけでなく、
リンパからも吸収されて免疫細胞に取り込まれ、体中の細胞に直接に運ばれることが分っています。
こうしてビタミンCにより免疫細胞が活動し、感染症やがん、アレルギーなどの病気を治癒・予防するのです。

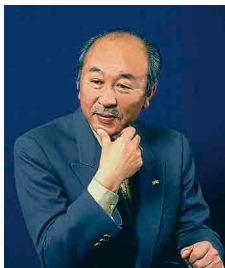
また、リポスフェリックビタミンCを直接皮膚に塗ることで皮膚のアンチエイジング、
また日焼けで赤くなった肌を守ってくれます。

リポスフェリックビタミンCは家庭の薬箱に入れておいてもいいぐらい、
日頃の健康維持に必須のものだと私は思います。

講演ではリポスフェリックビタミンCのエキサイティングな最新ニュースを織り交ぜながら
判りやすく皆様にお話しいたします。」

- 日 時 2014年3月24日(月) 13:00～14:30
- 会 場 横浜ベイホテル東急・
アンバサダーズボールルーム
- 定 員 100名様限定

沢山のお仲間とお友達をお誘いください。詳しくは株式会社スピックまで



SPIC Group
会長 芝田 乃丞

グルタチオン点滴でパーキンソン病を治す

… 著者：柳澤厚生 3月中旬発売予定 …

パーキンソン病は、現代医学では治癒することが出来ない難病と言われています。現在日本に13万人の患者がいると推測され、発症のピークは50歳代後半から60歳代と言われています。

症状は、手足の震え、手足の動きが悪くなる。無表情、睡眠障害、うつ状態、歩行障害、転びやすい、嚥下障害、頻尿、痴呆など多岐にわたり、時間と共に悪化し、ついに寝たきりになりそして人生を終えると言った恐ろしい病気です。

私が尊敬する先生がパーキンソン病でした。毎朝拙宅の前を杖をつき小刻みに散歩していました。嚥下障害で思うように食事が出来ず、とても痩せています。若い頃の写真とは比べものになりません。

「人生の晩年にこの様な病気になるとは考えてもいなかった」と寂しそうに仰いました。

私は柳澤先生に「良い治療方法はないだろうか」と相談しました。

「探してみましよう」と仰っていただけ、早々「治るかも知れませんが、その代わり積極的に取り組んでください」

先生は、「もし治るのであれば何でもする」そしてグルタチオン点滴療法が開始されたのです。

点滴治療が開始され、見る見る改善が認められるようになりました。

今回、「グルタチオン点滴でパーキンソン病を治す」の本が出版されることになりました。

リポスフェリック・ビタミンCやステム-Cニュートリションのメディカル・サプリメント効果も記載されています。

株式会社スピックでは200冊予約購入しましたので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。

価格は1冊1500円の予定です。柳澤先生のサイン入りです。

SPIC Salonの常設文庫に追加してください。ご希望冊量は6冊までとさせていただきます。

SPIC Group
会長 芝田 乃丞